

2024_0229「浅間山に沈む満月（動画）」日々の理科 3493号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

浅間山は長野県の軽井沢、佐久、群馬県の長野原町や嬭恋村からはもちろん、関東平野の広い範囲から見えます。標高 2568m の独立峰であること、噴火の歴史が浅い非常に若い火山で、樹木がほとんどないので、冬は真っ白になって非常に目立つことも要因です。意外な場所から浅間が見えて驚くことがよくあります。高層ビルの展望台に上ると、よく晴れた日には都内からも見えることがあります。

先日群馬県の藤岡市から見た浅間山も真っ白でした。ちょうど満月が沈むところで、あわてて場所を探してその一瞬を撮影しました。月は直径分をわずか2分で移動するので、三脚を立てる余裕はありませんでした。振動を抑えるためにエンジンを切って、窓枠にカメラを置いて撮ったのですが、やや揺れています。

浅間の右側の山は「浅間隠山（あさまかくしやま）」といいます。群馬県から見ると「浅間を隠す山」なのですが、山頂からは浅間の大眺望が得られます。

(2024年2月下旬／群馬県藤岡市郊外)

